

# 「首都圏でホテルに注力」

## 阪急阪神HD社長 東京五輪にらみ

阪急阪神ホールディングス（HD）の角和夫社長は15日、首都圏でビジネスホテルを新設するなど積極投資する方針を示した。2020年の東京五輪・パラリンピックを控え、訪日外国人客を含めてホテル需要が拡大する

と判断。駅近の利便性の高いビルにテナント出店する。成長分野に向けた1300億円の投資枠を活用する。

角社長は「阪急阪神HDは、阪急電鉄と阪神電気鉄道との経営統合の効

果で16年3月期の連結経常利益が1000億円を超えるなど財務体質が強まった」と強調。首都圏に積極投資する。

ホテル事業では寝具にこだわった宿泊特化型の「レム」ブランドのホテ

ルを増やす。まず17年春に東京・六本木駅の近くに全400室の「レム六本木」を開業する。その後は羽田空港や観光に便利な主要駅付近で物件を探す。テナント出店で初期費用を抑える。

マンション事業では9月に東京・元麻布で高級マンション「ジオグランデ元麻布」の販売を開始した。今後年間1〜2棟のペースで青山や赤坂など一等地で物件を開発する。